

創刊号

# ハナモモ通信

2015年10月



【発行】河北新報普及センター  
【協力】尚綱学院大  
【編集部】名取市内 11-000部  
【電話】022(267)2991

## 尚綱学院大学祭17・18日開催

### 「尚志祭」地域の調和がテーマ

尚綱学院大の文化祭「尚志祭」が17、18の両日、名取市ゆりが丘4丁目の大学キャンパスで開催される。今年のテーマは「Peace & Peace」。大空に広がる丘（ヒル）ハート（二）Peace（平和）と発音と同じであるPeace（部分・小片）を掲げ、来場者や学生が参加する「入りひとりが集まって、一緒にSM」が登場。18日は12時半より13時には、仙台が活動拠点でメンバー全員が東北出身の4人組DJ&ボーカルユニット「パンダフライオン」が演奏を披露する。キャンパスには焼きそばやカレー、チロリス、太刀エアーに富んだ出店が並びます。エゴ活動の一端としての古本市や、お化け屋敷、音楽サークルによるライブ、高校生向けオンラインキャンプなど種々な企画があります。年齢や性別に関わらず誰もが楽しめる内容になるよう、実行委員会を中心に教職員も全力で準備しています。



中心となって準備に取り組む実行委員のメンバー

実行委員長の3年、今野秀俊さんは「会場は駅から遠く、来るのが大変、だから来てくれた人全員が楽しめるものにした」と意気込んでいます。尚志祭の最後を飾る目玉プログラムは「打ち上げ花火」。2日目の18時半より19時に夜空を彩り、祭がフィナーレを迎えます。残念なことには毎年、一般公開が終わると帰ってしまう来場者が多いようです。時間の許す限り、最後の最後まで楽しんでください。（亀山智美 流谷胡桃）

### ◆那智が丘・遠藤忠彦所長◆

KFCは名取市内に4店舗を構えています。各4人1アルバイト19人で販売所の所長、従業員を配達しています。分譲時期で高齢者が多い地域が丘販売所の遠藤忠彦所長（41）です。（聞き手は小山初音）



那智が丘販売所 那智が丘4-19-4 住所：名取市那智が丘4-19-4 連絡先：386-5483

行ったりと地域の行事に参加しています。岩手県盛岡市出身、男女3人の子の父親で、現在は市内で単身赴任生活を送っています。新聞配達は小学5年から。高校卒業後の就職先が忙しく、当所の所長に辞めたいと伝えると、「うちに来ないかと誘われ、19歳で転職しました。趣味はスキューボードです。スノーボードのアルペン競技で全国大会への出場経験があります。体を動かすのが好きで、ウイングスーツは今も続けています。単身生活のおかげで料理の腕前も上がり、味はいうさいですよ。」

### 創刊のあひさつ

KFC社長 金成有造「ハナモモ通信」創刊号をお届けいたします。尚綱学院大の学生と河北新報普及センター（KFC）が協力して編集する名取地限定のミニコミ紙で、ご覧の通り名取ならではのローカルニュースが満載です。発行の想いは、「新しいつながり」をつくることと、

す。学生記者が津々浦々に入り込み、各地の方々とのコミュニケーションを深めながら、多様な話題を発掘してまいります。地域の皆さんと双方向でやり取りできる新たな情報チャネルにしていきなさいと考えております。当面、月1回の発行を予定しています。河北新報本紙とはひと味違う、より地域に密着した

「ハナモモ通信」題号のハナモモは名取市の花に由来します。

# なとり

## 歴史散策①



名取市下余田にある名取老女の墓

### 名取老女

名取市内は古くから、奥州街道が通り人々が住み続ける歴史ある街です。その数多い歴史をたどってみたいと思えます。まず「回目」となった人物が「名取老女」と言われています。

現在、名取市内には皆さんがご存知の通り高路に熊野神社（新宮社）、熊野本

としたところ、夢枕に熊野権現が現れ、「陸奥に下るのならば、名取に寄つてその老女にあるものを渡してくれ」とお告げがあった。目が覚め枕元を見とると（なき）の葉に

「道通」  
年もいっしょ  
思いにけり  
我も忘れじよ  
という虫唄いあつた。この神歌（神が詠んだ）という和歌）があつた。

山伏が旅途中、名取のあたりをさしかかるお告げ通り老女が住んでいた。山伏は老女に夢のことと虫唄いの神歌を伝えると涙を流し感激したという。老女の信心深い行いからその徳が広がり現在の熊野三社が勧請されたといふこととす。

熊野神社には、本宮十二社権現社の横に名取老女の宮が建つ。



# 「ハナモモ」は学びの場

## 取材・執筆で自分磨き



河北新報の記者(手前)に取材を受ける学生ライター

本紙「ハナモモ通信」は、KFCと尚絅学院大の学生が協力して編集、発行する名取市限定のミニコミ紙です。河北新報朝刊とはひと味違った情報を発信するとともに、紙面を学生の学びの場として活用していくことが狙いです。

創刊号に参加するのは尚絅学院大13年の学生です。入、阿部吉生さん、柏鏡子さん、亀山智美さん、小山室で「記者養成式」が行われました。学生KFCの金成社長から、取材時に携帯する名刺を手渡され、取り組みへの第一歩を踏み出しました。

「販売会社と大学が連携する先達例です。老者の視点で、多様な情報を発信してください」と金成社長。名刺を手渡し、学生の表情が一気に引き締まりました。

本紙は名取市産の「声の交差点」であるとともに、学生の学びの場でもあり、地元の学生が取材や執筆を通じてコミュニケーション力や文筆力を磨き、取材で学生と出会ったときは、温かい目で見守っていただけはいけません。



「ハナモモ通信」では、皆さんからのご意見を「感想」情報提供をお待ちしております。イベント情報やスポンサー、サクルのメンバー募集など身近な話題をお寄せください。

連絡先  
河北新報普及センター  
仙台市青葉区  
五橋1-1-10  
TEL  
022-266-2991

メールアドレスは仲間たちの上にあります。

メール:hanamomo-kfc@kahoku-u.ac.jp

